

地域の伝統文化を大切に！

第21回小原地区弓道大会

8月23日、小原公民館弓道場で小原地区弓道大会が開催されました。

小原地区では、市の指定文化財に指定されている「百矢納め」が継承されています。これは、100本の矢が的を射抜くと、その年は五穀豊穡、家内安全であるという神事。昨年の大会が雨で中止となり、2年ぶりの開催となった本年の大会には、小原弓道愛好会（高橋正二会長）から17人が出場。個人戦と「百矢納め」が行われる神社ごとの団体戦とが行われ、優勝を目指して28メートル離れた直径36センチメートルの的に狙いを定めていました。



▲28メートル先の的に集中する選手たち

楽しい「おはなし」をたくさん載せて！

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

8月23日、越河小学校に「全国訪問おはなし隊」がやってきました。これは、本年創業100年を迎えた講談社が、平成11年の創業90周年読書推進事業として始めたもので、子どもたちにもっと本に親しんでもらおうと、本を積んだキャラバンカーで全国を訪問しています。

越河小学校区子ども会育成会（松野久郎会長）では、「地域発見ウォークラリー大会」の開催に合わせて、「全国訪問おはなし隊」の訪問を申請。子どもたちは、絵本の読み聞かせを聞いたりキャラバンカーの絵本を見たりと、読書を思い思いに楽しんでいました。



▲小宮典子隊長の読み聞かせに夢中になる子どもたち

子どもたちの優しさで笑顔がいっぱい！

第一児童館児童と母親クラブが介護老人保健施設を訪問



▲入所者の皆さんと手遊びをする子どもたち

第一児童館の小学1、2年生約40人と、すぎのご母親クラブ（佐々木とし子会長）の会員12人が8月20日、介護老人保健施設「清風」を訪問して、入所者の皆さんと歌や手遊びで交流を行い、楽しい時間を過ごしました。

交流会の最後には、子どもたち手作りの「うちわ」を入所者全員にプレゼント。子どもたちの優しさに、入所者の皆さんはとてもうれしそうに笑っていました。

訪問を終えた子どもたちは、児童館で更生保護女性会・白石地区（岩崎美智子会長）の皆さんが作ったご褒美のカレーを、おいしそうに口いっぱいほお張っていました。

長寿の秘けつはにんにくパワー？

大槻たけさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲風間市長やご家族と一緒に100歳を祝いました

9月2日、福岡深谷地区にお住まいの大槻たけさんを風間市長が訪ね、満100歳を迎えたたけさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。

若いころは踊りが趣味で、地区の婦人会などで講師を務めるほどの腕前だったそうです。朝晩の食事は毎日欠かさず、中でも「自家製のにんにくみそが長生きの秘けつでは？」とご家族は話してくれました。現在は孫が8人、ひ孫が14人、やしゃごが2人います。普段はお話ができにくい状態ですが、ご家族と風間市長の会話に混ざろうと、うれしそうな表情を見せてくれました。

これからもお互い頑張りよう！

海老名・白石スポーツ交流大会

海老名・白石スポーツ交流大会

8月1日から3日まで、姉妹都市である海老名市のスポーツ少年団が本市を訪れ、スポーツを通じて交流を図ろうと、海老名・白石スポーツ交流大会を開催しました。

3回目となる交流大会の種目は、空手とミニバスケットボールです。空手の大会は、参加者全員による団体戦と低、中、高学年の3つの部に分けた個人戦で熱戦が繰り広げられました。個人戦高学年の部では、小学生とは思えないスピードと多彩な技が次々と繰り出され、大人顔負けの試合が続きました。熱戦の末、決勝で海老名小学校6年の寺清也くんが、白石東中学校1年の伊藤謙作くんを破り、見事優勝しました。

優勝した清也くんは6歳のころから空手を始め、海老名市の大会でも上位に入賞するほどの腕前。試合後に感想を聞くと「決勝の相手は、技も早く体も大きいので負けると思いましたが、勝って良かったです。とても楽しい交流試合でした」と興奮気味に話してくれました。



▲決勝戦で上段の突きを決める寺清也くん

ミニバスケットボールの大会では、男子と女子のチームに分かれて試合を行いました。結果は男子が30対54、女子が3対72で敗れ、実力の差を見せつけられる結果となりましたが、どの選手もゴールに向かう気持ちを見せ、一生懸命ボールを追い掛けていました。



写真1 果敢にドリブル突破を見せる白石の選手
写真2 ゴール前で激しいポジション取り
写真3 相手ファウルを誘いバスケットカウントワンスロー

試合後は、海老名・白石両チームの選手たちはスパッシュランドしろいしに移動。昼食と一緒にバーベキューをしたり、プールで遊んだりしてさらに交流を深め、これからもお互いに頑張りようとして笑顔で誓い合いました。

海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会

8月22日には、益岡公園野球場で海老名・白石姉妹都市親善野球交流大会を開催しました。

18回目を迎えた本大会は、秋を感じさせるような涼しい気温の中での試合となりました。

前日にバスで本市に到着した海老名市の選抜チームの子どもたちは、本市選抜チームの子どもたちの家庭にホームステイをして、交流を深めながら試合に臨みました。

打撃戦となった第1試合は、白石選抜Aチームが3回裏に大量5点を取り、9対6で勝利を取めました。



▲第1試合3回裏、白石Aチームの打線が爆発！

また、第2試合は、1回表に2点を先制した白石選抜Bチームが試合をリード。4回裏に1点差に詰め寄られましたが、7回表にダメ押しの1点を加え3対1で見事勝利！白石選抜チームの2連勝で交流大会の幕を閉じました。



▲第2試合1回表、白石Bチームが2点目のホームイン！